

外 来

看護師長 椎名こずえ

1 部門目標

看護職の専門性を活かし、関連する人々との対話を通して安全な治療環境を提供する。

2 業務体制・スタッフ

外来部門は、救急外来、血管造影室、内視鏡室、化学療法室、放射線治療、4科外来（整形外科、形成外科、脳神経内科、脳神経外科）、中央処置室を担当し看護を実践している。

令和3年3月現在、看護職員は23名であり、その内訳は看護師長1名、主任看護師2名、看護師名（常勤17名、非常勤3名）である。

3 業務実績

令和2年3月31日時点で救急受診患者数は4389名だった。また、検査・治療部門では、内視鏡件数が4006件、血管造影件数が154件、化学療法件数が1136件、放射線治療件数が2472件だった。中央処置室の利用患者数は1451名だった。緩和ケア外来受診患者数は166名だった。

4 1年間の総括

関係する多部署・職種の人々との対話を通して安全な治療環境の提供を目指した。医師や関連部署とのカンファレンスの開催、自部署内のリフレクションによる看護実践の振り返りを通し患者にとって安全な検査・治療環境につなげることができた。

また、救急医療体制の強化として、METの始動へ向けた準備や院内ICLS講習を開催した。

5 今後の目標

次年度は新病院設立に向け、救急医療体制の強化としてMETの始動や各ブースの看護の標準化を目指すとともに、チーム力の向上に向けたリーダーの育成を進めていく。